

広報

FUKUI CITY PUBLIC RELATIONS

FUKUI

広報ふくい

2

2016.10

NO.1454

特集

「おかえり」と
迎えてくれる
家族がいる

福井流Uターンストーリー



特集

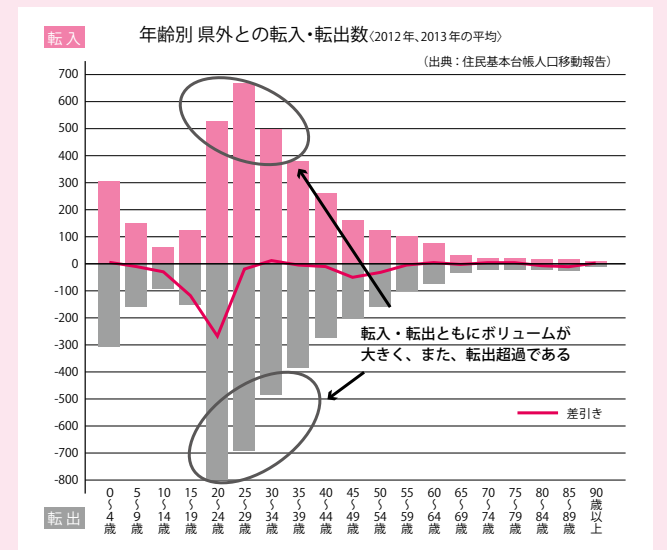
「おかえり」と 迎えてくれる 家族がいる

福井流Uターンストーリー

2014年5月、日本創成会議は、2040年までに全国の896の市区町村が人口減少によって消滅する可能性があるとして発表しました。その衝撃は大きく、以来「地方創生」をキーワードに、地方独自の取り組みが注目され続けています。

福井市も昨年12月に、人口減少に歯止めをかけ、人口構造の若返りを図るため、「人口ビジョン・総合戦略」を策定しました。その中でも特に市が課題とするのは、20～30歳代の若者の県外流出への対策です。

この特集では、家族のつながりを軸に、福井での仕事や生活を見つめることで、Uターン就職の良さをお伝えします。あなたも「福井で暮らす」ことの魅力について考えてみませんか。



漆崎 一樹さん
坂井市出身、坂井市在住
3年生、マスコミ志望



丸子 宗さん
あわら市出身、草津市在住
3年生、Uターン希望



帰山 華澄さん
福井市出身、新潟市在住
3年生、Uターン希望



黒田 剛司さん
越前市出身、大阪市在住
3年生、東京で就職、30歳くらいでUターン希望



藤井 葵さん
福井市出身、福井市在住
2年生、地元就職希望



中林 健太さん
坂井市出身、東大阪市在住
3年生、営業職・接客志望

緊急開催！ 地元就職を考える 学生座談会

昨年9月に行われた「ふくいUターンサマーキャンプ」に参加した大学生6人に集ってもらい、福井での就職について話してもらいました。

福井が好き、福井では第一人者になれる

「福井で就職しようと思う理由は？」
中林 都会は物価が高いので、福井で働いて、しっかり貯金したいです。僕が今大学に行っているのも、両親が一生懸命働いてくれたから。自分の子どもにも同じようにしてあげたい。親からも次の世代のためにしっかりとしろと言われていて、親と同じようにすることが恩返しだと思っています。

丸子 僕は福井が大好きだからです。子どもの頃からおばあちゃんや畑に行ったり、友達と遊ぶんだり。ゆったりとした雰囲気が好き。関西はせわしなくて、僕には合わない。

帰山 私はどこに行ってもいいって言われたら、どこへでも行きたいかも。でも一人っ子だし、家族と離れるのもちょっと。県外に出ると、家族の大切さが身に染みてわかる。お父さんが地域貢献してる姿がかっこよくて、そんな風になりたいとも思っています。

漆崎 僕は最初、福井なんて何にもないなって思っていました。大学入ってしばらくはつまらな

親には帰っていいって言われます

「家族で進学や就職について話したことはありませんか？」
一同 一度もないです。

丸子 でも、親から最終的には帰っていいとは言われます。

黒田 県外だとしても金沢くらいでいいんじゃない？とか。

帰山 家にいてほしいってはやっぱ言いづらいですね。最初は都会で働いて、あとから福井に戻るの？って聞いたら、あんたは戻ってこんわって言われました。だから、最初から福井でもいいかなって。

藤井 私は自分で決めなさいって言われます。うまくいっても失敗しても自分の責任。

一同 かつこいいい。

藤井 でも聞きたいこととか悩みがあっても聞いてくれないのがなあ。

「福井の企業の情報はどこで探しますか？」
中林 アイバックはいいですね。ホームページは、リクナビやマインナビより福井の企業の情報が多いし、関西でイベントをやってくれたりするので、帰省しなくても参加できるのがありがたいです。やっぱネットからの情報が多いですね。

丸子 僕もアイバックはよく使います。

帰山 私もホームページとか、フェイスブックとか、あとジョブカフェですかね。

漆崎 わからないことがあったら、直接企業に電話して聞きに行きますね。結局大事なのは自分の足ですかね。

丸子 企業の最近の状況とかは親に聞いたりもします。やっぱ親の方がそういう情報は知ってますしね。でも、中小企業について知る機会があまりなくて、大きいところがいいなって思っています。働いてみたい企業はあります。いろんな分野に挑戦しているような企業は魅力的ですね。地元以外の企業に就職しても、いいところを学んであわら市に返していきたいです。

帰山 大学の友達がとても大切なので、新潟にまだいたい気持ちもあります。でも、福井に戻るとかやっぱ福井がいいなってなる。結局、自分がいる場所をいいと思うようになるんだと思う。

丸子 僕はやっぱ滋養より福井が好き。長年住んでるってのが大きい。休日には京都や大阪にも行けるし、よほど働きたいところがあれば住むのは福井がいい。

黒田 東京は優秀な人が集まるので、学ぶにはいい場所。東京でたくさん吸収して、タイミングをみて福井に戻ってきたいですね。

*アイバック：㈱アイバックが行う北信越地区、都市圏、関西圏、中京圏の新卒採用企業情報提供や合同企業説明会運営サービス

Uターン就職

地元就職で
家族みんながハッピー♪



晴れて就職！
4月から福井帰るよ

地元就職を希望する理由ベスト3
①地元での生活に慣れている
②両親や親族の近くで生活したい
③実家から通えて経済的に楽
(2015年市アンケートより)

地元就職にはこれだけのメリットがあり、さらに親や祖父母も地元就職を望むとあれば、福井で就職しない手はありません。また、将来的に結婚、出産、子育ての過程において、サポートしてくれる親が近くにいることは、とても心強いことです。

サマーキャンプ&
保護者セミナーは
2016年も開催！

大学生

安心して下さい、
いい企業ありますよ！

市では、昨年から大学生向けの「ふくいU・Iターンサマーキャンプ」、保護者向けの「就職応援セミナー」を実施。どちらも福井の優れた企業を知ることができる内容です。福井にいる親が、学部などからリサーチして、子どもの興味や志望に合う企業を紹介することも大事です。



U・Iターンサマーキャンプの様子

保護者向けセミナー参加者の声

社員の生の声を聞いたのが良かったです。若い方の説明がしっかりしていて、成長できる会社だとわかりました。



松成 吉晃 さん

中学生～高校生

親子で進学・就職を考えよう

昔から工作とか好きな
なんやで、工学部とか
いいんじゃない？



就職は福井帰ってくるで、
県外の大学に行ってもいいか？

2015年の市のアンケート調査によると、中高生の頃から親子で進学や就職について話す機会を持つことにより、地元志向が高まる傾向があるということです。親は、子どもの将来について話し合う時間をたくさん持ち、地元で働く意識を育てていきましょう。

小学生～中学生

福井を知って、福井を好きに

福井を好きになるには、まず福井を知ることから。市では、福井の歴史や文化を学ぶ、ふるさと教育を行っています。また、将来の夢や目標とともに福井で働くイメージを持てるよう、地域の企業の協力を得て、職場体験などのキャリア教育を行っています。



幼少期

三世代コミュニケーションを
たくさん取ろう

大きくなって
うちに来て、
畑手伝ってや～。



うん！

核家族が増えているとはいえ、まだまだ三世代同居の家が多く、また、最近では両親どちらかの実家の近くに住民「近居」も増えており、祖父母と接する時間が多い福井っ子。小さい頃からおじいちゃんやおばあちゃんに「大きくなって近くに来てね」と言われることで、家族の温かみを感じ、地元への愛着心が育ちます。

「福井流Uターンストーリー」って？
福井の強みは、家庭や地域のつながりがしっかりとれていること。親や祖父母は将来子どもに近くにいると願っており、子どもも家族と住み慣れた環境で暮らしたいと思う傾向が強いです。子どものライフステージに応じて、家族で将来について考えましょう。



福井のイイトコ

- 1 大切な家族のそばで暮らせる
- 2 住み慣れた環境で生活できる
- 3 優れた企業でキャリアを積める
- 4 安心の子育て・教育環境
- 5 何もない、だからこそクリエイティブになれる

福井は幸福度日本一と言われているが、それを実感している人は少ないかもしれません。しかし、「福井で暮らす」ことについて、家族、仕事、生活、それぞれの面から考えると、どこをとってもその質の高さを感じられるのではないのでしょうか。この「生活の中にある福井の良さ」を普段から意識し、家族や周囲の人に伝えていくことがUターン、さらにはIターンにもつながっていくと思います。豊かな福井を未来に引き継いでいくため、まずは「福井の良いところ」を見つめ直しましょう。

問合せ 広報広聴課 ☎ 20・5257

福井は子育ての環境が整っていますね

大学卒業後、2年間兵庫県の製薬会社に勤務しましたが、薬剤師の資格を生かして福井に貢献したいと思って戻り、病院や調剤薬局で働いてきました。Uターンの決め手になったのは、家族や友達がいたことですかね。大好きなスキーやダイビングが近くでできることも魅力でした。

今は小学5年生、1年生、4歳の子供がいます。男3人兄弟で、家の中にはぎやかです。子育て真っ最中ですが、福井市は子育ての制度が整っていてありがたいです。私は最近、3人目の子どもの託児所料金が無料という制度を利用して、資格試験の勉強をし、無事合格しました。子育て中でも、キャリアアップできるのはうれしいです。

親や姉が市内に住んでいて、子どもの病気や私の仕事のときなどに預かってもらうこともよくあります。親が近くにいると、いざというときとても心強いですね。自然に恵まれているところも、子どもがのびのびと育つのに、本当にいい環境だと思います。



田中 晴美 さん

神戸市の大学を卒業し、そのまま就職。その後福井市にUターン。現在は、福祉施設で薬剤師として働く。夫と子どもの5人暮らし。

学生の頃の夢「ものづくり」を実現 商品企画にやりがいを感じています

将来を考えたとき、「ものづくりがしたい」と思い、東京の大学の理工学部に進学しました。福井に戻ったのは、小さい頃から祖父に長男だから家を継ぐよう言い続けられていたことと、福井を出たからこそ分かる福井の良さに気付いたことが大きいです。身近にある山や海、四季ごとに自然と遊び、自然の幸を食す。最終的には「どこで働こうか、給与は成果次第」と考え、自分が好きな福井に戻る決断をしました。卒業後は、市内の福祉施設で生活相談員をしていました。職員の皆さんがとても温かく、働きやすい職場でしたね。その後結婚し、妻の実家の会社と取引のあるジャパンポリマーク(株)へ入社しました。

社しました。現在、ユニフォームのチーム名や企業名などを熱転写ラベルで接着したり、お客さまがデザインした柄を昇華転写したりする仕事を担当しています。商品の加工はもちろん、商談や企画などもものづくりの一連の流れに携わることができ、とてもやりがいを感じています。目標は、ジャパンポリマークを世界一の転写ラベル会社にするということです。家庭では、2人の息子が昔の私と同じようにサッカーに夢中になっている姿に癒やされます。プロサッカー選手になった子どもが、私の作るユニフォームを着てプレーする試合を応援に行くのが、家族みんなの夢ですね。



清水 邦雄 さん

東京の大学を卒業後、福井市にUターン就職。現在は、ジャパンポリマーク(株) 営業部 主任。実家近くで、妻と9歳、3歳の子供と暮らす。

ジャパンポリマーク(株) (清水杉谷町)

主にスポーツウェアなどに貼る熱転写ラベルの製造・加工を行う。FIFAワールドカップサッカーブラジル大会 日本代表ユニフォームマークに採用されるなど、高い評価を受けている。

Uターン者に聞く！

福井は、世界に誇る技術をもった企業がたくさんあり、子どもを育てるのにもびっぴりな環境です。仕事も私生活も充実させるなら、やっぱり福井。

地方消滅 東京一極集中が招く人口急減

増田 寛也／編著 【出版】中央公論新社

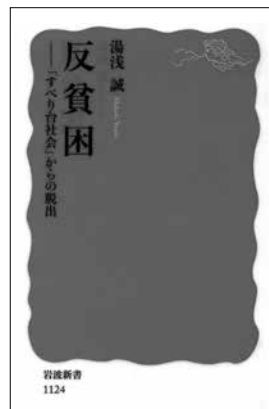
日本創成会議は、「消滅可能性都市」を 896 自治体と提示している。この数は、2040 年に 20～39 歳の女性人口が、2010 年の 5 割以下になると予測される自治体の数だという。他の地域に比べて出生率が低い東京への一極集中は、人口減少を加速化させ、経済変動や災害に弱い画一的な社会を形成するのではないかと問いかける。東京とは異なる、地域の特徴を生かした多様な取り組みが求められている。2015 年新書大賞受賞。



反貧困「すべり台社会」からの脱出

湯浅 誠／著 【出版】岩波書店

貧困は、低所得であるというだけでなく、お金や人間関係、自信、尊敬などの「溜め」を失い、選択肢が奪われる状況であるという。貧困の実態を統計と事例で示しながら、「反貧困」活動を紹介する。貧困を自己責任論で切り捨て、溜めを奪い合う現在のあり方をやめ、人間らしい労働と生活を保障できる「強い社会」の実現を模索している。



絶望の国の幸福な若者たち

古市 憲寿／著 【出版】講談社

若者をとりまく情勢は厳しいが、2010 年に 20 歳代の約 70% が現在の生活に満足と答えている。「内向き」といわれながら、デモや震災ボランティアに参加する若者も多く、ソーシャルメディアで承認を求めている。そもそも若者とは何か。若者を観察し、「大人」になれない「一億総若者化時代」を、若者世代の社会学者が読み解く。



市民活動グループを紹介します

親子の笑顔、仲間とのつながり いろんなものを得ることができた

子どもと一緒に遊んだり、お母さんの話し相手になったりと、親子が笑顔になるためのお手伝いをする子育て支援ボランティア。ももとも個人で活動していましたが、ボランティア同士の横のつながりをつくろうと、集まるようになって結成したのが「たまごの会」です。昨年のクリスマス会では、参加した親子のためにプレゼントを手作りするなど、つながりとともに活動の

幅も広がっています。メンバーは「子どもから元気をもらえ、お母さんの笑顔を見ると嬉しくなる」「同じ思いの仲間ができて楽しい」と話します。今後も、より広く活動していこうと計画しているとのこと。「子育てには心の余裕が必要。ここにはいろんな知恵が集まっている、気持ちよく楽しめよう」と、ぜひ子育て支援室に来てください」とメッセージをいただきました。



た・ま・ごの会

「3人目でやっと子育てに余裕を持てた。とことん子育てに関わりたい」と話す南出仁美代表 (㊤写真右端)



Data

アオッサ5階にある子育て支援室(火曜を除く9時～16時)で、子育て支援ボランティアを行う。たまごの会は「たにんのもごを育てる会」から名付けた。2013年発足、約30人で活動中。



大井 章太さん

Profile

長男・白夏瀬くん(4歳)、次男・朝紗白くん(1歳6か月)、ママの4人家族。休日は親子4人で過ごすことにしているが、時には子どもを預けてママと2人で外出することも。36歳。

次男が生まれたとき、8か月の育児休暇を取得した章太パパ。ママが3か月しか育休を取れず、長男の時はママの両親の助けでなんとかりましたが、今回は最終手段として育休取得を決めました。秋冬に重なった育休中は、家に閉じこもりがちになり、気が滅入ってしまった時期もあったそうですが、見かねたパパのお母さんが、週に一度息抜きのお時間を与えてくれたおかげで、切り抜けられたとのこと。復帰した今は時短制度を利用し、毎日晩ご飯を作っています。レシピ本を買って、献立を工夫するなど、何事にも一生懸命取り組むパパです。

育児は心のケアをしてくれる人がいれば大丈夫!



育児を楽しむパパを紹介します



Kids × Smile

米作りの詳しい工程を体験。農家の人はすごい!



上文殊小学校 稲っ子クラブ

Data

6年生10人(前2列)と5年生12人(後2列)で米作り。5年生が稲の生育調査を行っている。現5年生は、3代目となる。

稲っ子クラブの特徴は、稲の生育調査を行うこと。これは、伝統行事である東大寺お米送りのことを知ってほしいと願う地区の人たちの大きな協力のもと進められています。6月から稲の丈や茎数の測定を続け、夏休み中には害虫や不良米の見分け方を教えてもらいました。稲刈り後は、はさがけ、脱穀、もみすりなど昔ながらの工程を体験したそうです。ご飯が大好きという5年生の白崎理雅くんと小原優姫さんは、「田植えのときから苦労して自分の株を育ててきたので、愛着が湧いて、白米になるまでに不良米などで選別されて減っていくのがとてもさみしかった」「お米一粒一粒がいとおいしく感じた」と話してくれました。

地区の人たちと「はさがけ」



フォト かわら版



平成30年の福井国体開催に向け、市体育館の機能を充実させるため、サブアリーナ建設と弓道場の建て替えを行い、1月5日から供用を開始しました。コンパクトサイズの子アアリーナは、バスケットボールやテニスなど、練習試合や個人で気軽に運動したいときに便利です。弓道場は、近的(6人立)、巻藁2台が利用できます。

体育館、弓道場ともにバリアフリー対応。体育館の空き状況は、ふくえいねっと施設予約サービスで確認できます。弓道場は電話でお問い合わせください。

問合せ スポーツ課分室(市体育館内)
☎20・5394



▲設備も新しくなった弓道場



◀天井が高く、開放的なサブアリーナ

新たなスポーツ振興拠点へ

水仙、地魚、かにでおもてなし

1月16日、17日の2日間、越前水仙の里公園で「こしの水仙まつり」が行われました。水仙ドームを無料開放したり、水仙のプレゼントや販売を行ったりするなど、越前地区の特産品をPRしました。

オープニングの餅まきを始め、地元児童による太鼓やヨサコイ披露、前日に取れたばかりの地魚の競り市などがあり、会場は家族連れなどで大にぎわい。職場の仲間4人で訪れたという来場者は「水仙をもらって、かに汁かにめしを食べて、越廼を満喫できた」と楽しんでいました。



▲水仙の販売



サウルコス福井の選手も参加した餅まき

夢に向かうスタートライン

1月10日、フェニックス・プラザで成人式を行い、約2100人の新成人が参加しました。

第1部の式典では、新成人代表の中嶋優太さんが、「素晴らしいふるさとである福井というバトンを受け取り、そのバトンを次の世代へつないでいくスタートラインに立ちました。私たちはより魅力ある福井を創っていきます」と誓いの言葉を述べました。

第2部のはたちのつどいでは、ステージ上で、「お酒を飲みすぎず健康な人生を送ろう」など、新成人らしい主張を大声で叫ぶ企画で盛り上がりました。続いて、実行委員の9人が制作した「祝する訪中ムービー」では、中学校の恩師がAKB48の曲で踊る姿が映し出されて歓声が上がりました。

誓いの言葉を述べる新成人代表の4人



福井商業高等学校チアリーダー部・JETSのNDA全米チアダンス選手権大会への出場激励会が、1月5日に市役所で開かれました。2月下旬にアメリカのフロリダ州で行われるこの大会には、6年連続7回目の出場となります。これまで優勝は5回、2013年からは3連覇しています。

東村新一市長が「プレッシャーもあると思うが、今まで練習してきたことを忘れずに、お世話になった人の顔を思い浮かべて、楽しんできてください」と激励すると、部長の山田まどかさんは、「先生や家族、友達への感謝を忘れず、4連覇を目指して頑張ってください」と、健闘を誓いました。



市長から激励金を受け取る山田さん

4連覇目指す、福商チアリーダー部

熊本市から訪れた交流団の皆さんの歓迎式



福井市子ども会育成連合会 検索

1月8日、姉妹都市の熊本市から小学生16人が、交流団として福井市を訪れ、市役所で歓迎式が開かれました。

この交流は、当時の熊本市長が訪れたときに、熊本の子どもたちにもぜひ雪を見せたいと思ったことがきっかけで、平成7年から始まりました。

内田高義教育長は、「福井の友達と交流を深めてください」と歓迎しました。また、交流団を代表して高森優希くんが、「熊本ではあまり雪が降らないので、スキーが一番楽しみです」とあいさつしました。

一行は、11日まで滞在し、昨年8月に熊本市を訪問した福井市交流団の児童宅でホームステイをしたり、スキーをしたりして楽しみました。

楽しみは、スキーとホームステイ

気合で寒さを吹き飛ばせ!

1月8日、大和田保育園で「空手寒稽古」が行われました。同園では、園児の体力向上と我慢強さや礼儀正しさを身に付けるため、年間を通して空手を保育に取り入れています。

小雨が降る中、4・5歳児36人が道着に素足で参加。同地区の木村一夫さんの指導のもと、元気に声を出しながら、突きや蹴りなど10種類の型を披露しました。見学に来ていた保護者は「寒いので少しかわいそうでしたが、よくがんばりました」と褒めていました。

稽古が終わると、子どもたちは湯気が立つぜんざいで体を温め、笑顔を見せていました。

突きや蹴りを披露する園児



Pick up! information



平成31年4月を目標に、中核市を目指します

中核市とは、政令指定都市に次ぐ事務権限を持つ都市制度です。中核市になると、保健・福祉・環境など市民に身近な分野の多くの事務が県から移譲され、直接市で行えるようになります。北陸では金沢市や富山市がすでに中核市になっています。

本市も、中核市に移行することで、さらなる市民サービスの向上と、人口減少社会や地域間競争に打ち勝つ活力ある地域づくりの実現を図ります。

【中核市移行による主な効果】

市のサービスがパワーアップ!

市が保健所を設置することにより、福祉保健業務の専門性を高め、より質の高いサービスを提供します。

◎保健指導、精神保健相談 など

事務手続きがスピードアップ!

市が窓口となり県で認定していた事務を、市が一括して行うことにより、事務手続きがスピードアップします。

◎身体障害者手帳の交付、埋蔵文化財の発掘届出 など

まちの魅力をブラッシュアップ!

地域の魅力を生かした独自の景観づくりやふるさと教育などを行うことで、特色あるまちづくりを推進します。

◎屋外広告物規制、教職員研修 など



県都としてのステップアップ!

自治体としての能力を高め、県内のリーダー的役割を發揮することで、周辺市町との新たな連携を図り、産業の活性化や生活環境の向上を推進します。

問合せ 総合政策室 ☎ 20・5283



福井市の開催競技別会期が決定しました

福井しあわせ元気国体2018

第73回 国民体育大会 織りなそう 力と技と美しさ
平成30年(2018年) 9月29日(土)～10月9日(火)

競技名	9/25	9/26	9/27	9/28	9/29	9/30	10/1	10/2	10/3	10/4	10/5	10/6	10/7	10/8	10/9
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月祝	火
開会式・閉会式				県営陸上競技場										県営陸上競技場	
陸上競技												県営陸上競技場			
テニス							わかばテニスコート ほか								
ボクシング											県産業会館				
バスケットボール							市体育館 ほか								
自転車(トラック・レース)	福井競輪場														
ソフトテニス											わかばテニスコート				
柔道											県立武道館				
ソフトボール						きららパーク									
ライフル射撃(CP以外)									県立ライフル射撃場 ほか						
ライフル射撃(CP)									警察学校射撃場						
剣道						県立武道館									
アーチェリー												市スポーツ公園サッカー場			
ボウリング									スポーツプラザ WAVE40						
高等学校野球(硬式)						県営野球場									
高等学校野球(軟式)						フェニックススタジアム									

イベントや競技の情報満載!
国体のホームページ見てね

※高等学校野球(硬式・軟式)は特別競技です。

問合せ 国体・障害者スポーツ大会推進室 ☎ 20・5785



市・県民税の申告と所得税の臨時相談

市・県民税の申告は早めにしましょう

市・県民税の申告受付と相談を行います。前年の申告内容に応じて、申告の必要があると思われる人には申告書を送付しています。改正事項など、詳しくは2月に各自治会を通して配布する「平成28年度市民税・県民税(住民税)の申告について」の冊子をご覧ください。

とき 2月16日(火)～3月15日(火)(土・日曜日を除く) 9時～12時、13時～17時

ところ 市役所本館2階 市民税課

・各総合支所 振興課

◎各公民館でも、申告受付・相談ができます

とき	じかん	公民館名	とき	じかん	公民館名
2月18日(木)	10:00～13:00	森田	3月1日(火)	10:00～12:00	国見
19日(金)	10:00～12:00	円山		13:00～15:00	鷹巣
	13:00～15:00	東藤島	2日(水)	10:00～12:00	鶯
23日(火)	10:00～13:00	社北		13:00～15:00	本郷
24日(水)	10:00～12:00	麻生津	3日(木)	10:00～12:00	東郷
	13:00～15:00	清明		13:00～15:00	六条
25日(木)	10:00～12:00	西藤島	4日(金)	10:00～12:00	岡保
	13:00～15:00	明新		13:00～15:00	文殊
26日(金)	10:00～13:00	社南			

対象 平成28年1月1日時点で、福井市に住居登録があった人

※平成27年1月～12月の間に所得がなかった人も、申告が必要です。

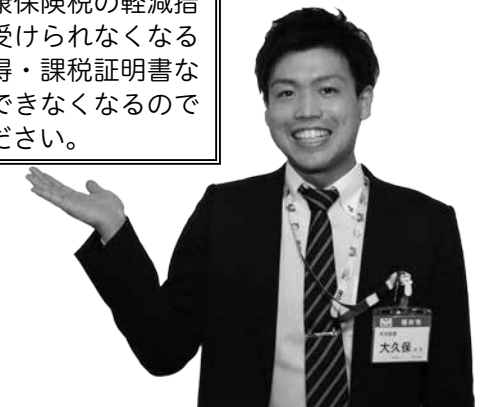
◆次の場合は、申告の必要はありません

- ・所得税の確定申告をしている場合
- ・給与所得のみ、または年金所得のみの人で、支払者から支払報告書が提出されている場合

※ただし、中途退職者や退職者、市・県民税において新たに各種控除を受けたい人は申告が必要です。

問合せ 市民税課 ☎ 20・5306

申告をしないと、各種控除や国民健康保険税の軽減措置などが受けられなくなるほか、所得・課税証明書などが発行できなくなるのでご注意ください。



所得税の臨時税務相談を各総合支所で行います

ところ	とき	じかん	対象
美山総合支所	2月22日(月)～24日(水)	9:00～12:00、 13:00～17:00	主に給与所得者や年金受給者
越廼公民館	2月16日(火)、17日(水)		
清水総合支所	2月16日(火)～3月15日(火) (土・日曜日を除く)		

※内容によっては、福井税務署への相談をお願いすることがあります。

問合せ 美山総合支所 振興課 ☎ 90・1191

越廼総合支所 振興課 ☎ 89・2112

清水総合支所 振興課 ☎ 98・2001



i お知らせ

暮らし

下水道受益者負担金などの納入について

下水道受益者負担金・分担金の第4期の納期限は2月29日(月)です。
問合せ 下水道お客様サービス室
☎20・5634

個人番号カードの交付には時間がかかります

個人番号カードは、申請順に国が一括作成するため、市役所窓口でお渡しするまでに数か月かかる場合があります。交付の準備ができ次第、本人宛に郵便でお知らせします。窓口での混雑が予想されますので、時間に余裕を持ってお越しください。
問合せ 市民課
☎20・5286



個人番号カード

納期限は2月29日です

- ・固定資産税 4期
- ・国民健康保険税 8期

納税は便利な納税組合や口座振替で

福祉

講演会とシンポジウム 発達障がいを理解しよう

とき 2月28日(日)
13時30分～15時30分
ところ 市保健センター
講師 平谷こども発達クリニック 院長 平谷美智夫氏
定員 100人
申込 2月25日(木)まで電話受付
問合せ・申込先 障がい福祉課
☎20・5435

健康

健康相談会

とき 3月17日(木)
13時30分～15時30分
ところ 市保健センター
内容 医師、保健師、栄養士による生活習慣病予防や健診結果についての個別相談 (1人10分程度)
相談医 三船内科クリニック 三船真一氏
定員 15人(予約制)
持ち物 健診結果など血液データが分かるもの
申込 2月15日(月)から電話受付
問合せ・申込先 市保健センター
☎28・1256

女性の健康力アップ

講演&ヨガ体験で リフレッシュ

子宮・乳がんのリスクや心と体の健康について学びませんか。ヨガ体験でリフレッシュしましょう。講演のみの参加もできます。
とき 3月5日(土)14時～15時50分
※受付は13時30分からです。
ところ 市保健センター
対象 30～40歳の女性
講師 福井県済生会病院 女性診療センター 産婦人科部長 細川久美子氏 ほか
定員 50人(先着順)
申込 2月15日(月)から電話受付
※動きやすい服装で参加してください。
問合せ・申込先 市保健センター
☎28・1256

子育て

子どものほめ方教室

子どもへの接し方や上手にほめる方法、子育てのコツを学びませんか。
とき 3月6日(日)10時～11時30分
※受付は9時40分からです。
ところ 市保健センター
対象 未就学児の保護者
講師 言語聴覚士 定徳京子氏 80人(先着順)
申込 2月15日(月)から3月3日(木)まで電話受付

催し・講座

自然史講座 冬越し昆虫の観察会

※託児はありません。
問合せ・申込先 市保健センター
☎28・1256
朽ち木や木の洞などで冬を越している昆虫を観察します。カブトムシの幼虫探しもします。
とき 3月5日(土)13時30分～16時
ところ 自然史博物館、足羽山 (荒天中止)
対象 小学生以上
定員 20人(抽選)
参加費 100円(テキスト代)
申込 2月26日(金)(必着)まで往復はがき受付
問合せ・申込先 〒918-8006 福井市足羽上町147 自然史博物館
☎35・2844

天体観望会 オリオン大星雲を 見よう

オリオン座にある大星雲を天体望遠鏡で観望しませんか。
とき 2月27日(土)19時～21時 (雨天・曇天時中止)
問合せ・ところ 自然史博物館
☎35・2844

観光おもてなし

市民運動推進大会

市民や観光事業者、関連団体、行政などが一体となって「観光おもてなし市民運動」に活発に取り組んでいくため、推進大会を開催します。
とき 3月5日(土)14時～16時20分
ところ 県国際交流会館地下1階 多目的ホール
内容 市のおもてなしの取り組み、観光おもてなし体験だよりの朗読
・感動おもてなし大賞表彰
・基調講演 (講師) グランドハイアット東京 チーフコンシェルジュ 阿部佳氏

定員 150人(先着順)
申込 FAXまたはEメールで、共通事項と団体・企業名をお知らせください。
問合せ・申込先 おもてなし観光推進室
☎20・5346
FAX 20・5323
《Eメール》 omtenashi@city.fukui.g.jp



阿部 佳氏

福井市役所セミナー in 東京

U・イターン就職を希望している主に首都圏在住の人を対象に、福井市役所セミナーを開催します。
とき 3月6日(日)
【午前の部】10時～12時
【午後の部】14時～16時
ところ 新宿NSビル (新宿区西新宿2丁目)

定員 各30人(先着順)
申込 2月15日(月)から29日(月)まで「ふくえーねっと」受付
問合せ 職員課
☎20・5250

G・Cook料理教室

◆伝承料理教室
とき 3月2日(水)、16日(水)
11時～13時30分
内容 現代風にアレンジした県内の伝統野菜料理

講師 福井市食生活改善推進員 各10人(抽選)
持ち物 エプロン
締切 各開催日の1週間前の水曜日
◆食×美×健康教室
とき 3月19日(土)11時～13時30分

市民活動を応援する 助成金説明会

市民活動を応援する各種助成金について、5団体が説明します。
とき 3月4日(金)
18時30分～20時30分
※受付は18時からです。
ところ アオツサ会議室706
申込 3月3日(木)までFAXまたはEメール受付
問合せ・申込先 市NPO支援センター
☎97・5065
FAX 97・5152
《Eメール》 center@np-fukui.city.jp

とろ火ちゃん料理教室

とき 3月18日(金)10時～12時30分
ところ ガスクッキングスタジオ (企業局庁舎1階)
内容 健康一番!栄養バランスばっちりメニュー(野菜とフルーツのクレープ)
講師 のじファーム 野路直美氏
定員 15人(抽選)
参加費 1000円
持ち物 エプロン
申込 3月10日(木)まで電話受付
問合せ・申込先 ガス・水道お客様課
☎20・5632

内容・講義(胃腸を元気にする野菜)
講師 中島早苗氏
定員 10人(抽選)
持ち物 エプロン、筆記用具
締切 3月12日(土)
◆キッズママのベジフル教室
とき 3月26日(土)11時～13時
対象 3～5歳の子とその保護者 いちご&たまねぎでワクワク春プレート
講師 ジュニア野菜ソムリエ 福岡繭香氏
定員 6組(抽選)
持ち物 エプロン、筆記用具
締切 3月19日(土)
◎いずれも...
ところ Uicanビル1階 G・Cook (西武福井店前)
参加費 500円
申込 各締切日まで電話受付 (火曜日を除く10時～19時30分)
問合せ・申込先 G・Cook
☎22・2233



暮らし 福祉 健康 子育て 催し・講座 募集 その他

- ◆料金の記載のないものは無料です。
- ◆申込の記載のないものは申込不要です。
- ◆申込時は次の**共通事項**をお知らせください。

共通事項 行事名、住所、氏名、年齢、電話番号

福井学特別公開講座

春のおとづれ
グリフィス館
ファーストコンサート

とき 2月28日(日)14時～14時45分
 ところ グリフィス記念館 (中央3丁目)

演奏者・フルート 田賀優及子氏
 ・ピアノ 小森峰代氏

※コンサート後、館内案内もします。
 問合せ グリフィス記念館 ☎50・2911

とき 2月27日(土)14時～16時
 ところ アオッサ研修室601

内容 激動する世界情勢の中での
 日本外交の進路

講師 福井県ふるさと大使
 松尾文夫氏

子どもアトリエ
じっくり観察して描こう
ースルメ編ー

とき 3月6日(日)
 13時30分～15時30分

ところ 市美術館

対象 小学生以上

定員 25人(抽選)

内容 展示会を鑑賞した後で、虫眼鏡を使ってじっくり観察しながら描いてみよう。

問合せ・申込先 市美術館 ☎33・2990

まちづくり成果発表会

とき 2月27日(土)13時～16時30分
 ところ 県自治会館(西開発4丁目)

内容・特別講演
 「地域の中をパワーアップ」
 (講師) 中村美香氏

・トークセッション
 「まちづくりとは、そもそも何?」

・社北地区、岡保地区活動発表

活動パネル展
 まちづくり・国際課
 ☎20・5300



活動パネル展の様子

水道モニター募集

募集人数 20人(選考)

申込 2月25日(休)必着 までに、応募用紙を郵送またはEメールで送ってください。

※応募用紙は窓口にあります。ホームページからダウンロードすることもできます。

問合せ・申込先 ホームページ
 〒910・8522
 福井市企業局経営管理課 ☎20・5615
 《Eメール》
 Kkanri@city.fukui.lg.jp



2月検針分のガス料金	ガス水道料金センター(ガス) ☎20-5613			
使用量区分	0㎡から 20㎡まで	20㎡を超え 100㎡まで	100㎡を超え 200㎡まで	200㎡を 超える場合
基本料金	579.31円	753.10円	1,332.40円	2,595.26円
従量料金	234.79円	226.66円	220.76円	214.74円

※原料費調整額(-18.74円)適用後の従量料金(1㎡あたり)です。

親子工作実験教室

◆ドライアイスの実験と地球温暖化

ドライアイスを使ってフィルムケースのふたを飛ばしたり、火を消したりします。

とき 3月6日(日)10時～11時30分

◆スライムを作って遊ぼう

混ぜる割合を変えた2種類のスライムを作ります。

とき 4月10日(日)
 10時30分～11時30分

◎いずれも...
 ところ 治水記念館(種池2丁目)

対象 3歳～小学生の子とその保護者

定員 20組(先着順)

参加費 1000円

申込 2月16日(火)から電話またはEメール受付

※共通事項と参加人数をお知らせください。

問合せ・申込先 治水記念館 ☎33・0278
 《Eメール》
 chisui@mx2.fctv.ne.jp

発掘速報展

平成27年度の発掘調査成果と出土品を展示します。また、約40年ぶりに帰福した三十八社遺跡と重立古墳群の遺物を紹介します。

とき 2月13日(土)～3月13日(日)
 9時～17時

ところ 文化財保護センター (測4丁目)

◆古代体験「やってみね間」

内容 勾玉づくり、弓矢体験、火おこし体験、織物づくり など

問合せ 文化財保護センター ☎35・1015

図書館の本から作った作品展

特設コーナー「おうち de ハンドメイド」に置いてある本を参考に製作された作品と、参考にした本を併せて展示します。

とき 2月19日(金)～3月4日(金)

ところ 市立図書館、みどり図書館、桜木図書館

問合せ 市立図書館 ☎20・5000
 みどり図書館 ☎34・8859
 桜木図書館 ☎20・1530

FUKUI JAZZ 2016

地元で活動するアーティストを中心としたジャズライブです。

とき	じかん	出演
3月2日(水)	開場 18:30 開演 19:00	・T-Times BAND ・友吉俊郎ジャム・セッション
3日(木)		・福井 JAZZ 4 SAX
4日(金)		・DOLABRATA ・ディキシー・ハピネス
5日(土)		・福井ニューサウンズ・オーケストラ ・金津 JAZZ 倶楽部
6日(日)	開場 16:30 開演 17:00	・白井淳夫Swingin' Band & 三好由美

ところ 響のホール(中央1丁目)

料金 前売 1,000円 ・当日 1,500円
 ・3日間(2～4日)通し券 2,000円(限定50枚)

問合せ 響のホール ☎30・0086

アソビねっ 検索

親子で体験
シイタケ菌打ちとペン立て作り

とき 3月13日(日)9時～15時30分

ところ 少年自然の家

対象 市内に住む小学生とその保護者

内容 シイタケ菌打ち
 ・きのこランチ
 ・ペン立て作り

定員 20組(抽選)

参加費 1人500円

申込 2月19日(金)まで電話またはFAX受付

問合せ・申込先 少年自然の家
 ☎41・3660
 FAX 41・3661

体験学習会
土器づくり

◆土器づくり

昔と同じ道具を使って、好きな形の土器を作ります。

とき 2月21日(日)13時30分～16時

定員 30人(先着順)

参加費 300円(材料費)

申込 2月15日(月)から電話受付

◆土器焼き

野焼きを行います。土器が黒から赤、そして白へと変わる様子をご覧ください。

とき 3月5日(土)9時～16時 (雨天順延)

◎いずれも...
 ところ 文化財保護センター

問合せ・申込先 文化財保護センター
 ☎35・1015

1月1日の人口と世帯

・人口 266,514人 (前月比-187)
 男 128,697人、女 137,817人
 ・世帯 100,312世帯 (前月比-44)



◆東山健康運動公園 ☎54・9190
 2月29日(月)～3月2日(火)
 《機器点検・清掃のため》

臨時休館

民放テレビ番組情報

番組名 それゆけ！福井市調査隊
 内容 福井市の子育て支援を探れ
 放送局 福井放送
 放送日時 【本放送】2月13日(土) 15:40～15:55
 【再放送】2月16日(火) 10:30～10:45

放送日時や内容は、変更する場合があります。
 問合せ 広報広聴課 ☎20・5257

養浩館庭園の無料開園期間が変更になりました

広報ふくい1月25日号8ページで、養浩館庭園の無料開園を2月13日(土)～18日(木)と案内しましたが、池の清掃期間の変更に伴い、日程が変更となりました。おわびして訂正します。

変更後 3月24日(木)～29日(火)
 問合せ 文化課 ☎20・5367

屋外グラウンドを開放します



◆福井フェニックススタジアム、サブグラウンド

とき 3月12日(土)～31日(木)
 ※休日明けの2日間を除きます。

◆スポーツ公園ソフトボール場、成和・大島グラウンド

とき 3月12日(土)～27日(日)の土・日曜日、祝日

◎いずれも…

じかん 9時～17時
 申込 2月25日(木)から3月3日(木)まで「ふくe-ねっと」受付(抽選)
 抽選日 3月4日(金)
 問合せ・ホームページ スポーツ課 ☎20・5355

その他

花見ぼんぼり募集
 足羽山にあなたの名前の入ったぼんぼりを掲げてみませんか。払い込みをした先着100人に、タオルを差し上げます。
 登録料 1個4500円
 申込 3月13日(日)までに、申込書をFAXで送り、登録料を納めてください。
 ※申込書は、おもてなし観光推進室、足羽山公園茶屋組合加盟店、足羽神社にあります。
 問合せ・申込先 さくら灯りの会事務局 ☎34・0621 FAX 34・0621

アンケート調査にご協力ください
 市では、「第3次福井市地域福祉計画」に関するアンケート調査を実施しています。この調査では、市内に住む20歳以上の人のうちから2000人を無作為に抽出し、調査票を送っています。
 調査結果は、市の地域福祉計画を策定するための基礎資料として重要なものになりますので、調査票が届いた人は、ご協力をお願いします。
 期 限 2月29日(月)
 問合せ 地域福祉課 ☎20・5404

消費生活モニター募集

任期 4月1日～平成29年3月31日
 内容 指定した店舗への生活関連物資小売価格調査(月1回)
 ・消費者行政や消費生活に関する意見の提出
 ・消費生活に関する研修や行事への参加
 報酬 年額1万8000円
 ※調査などにかかる交通費を含みます。
 応募要件 次のすべてに該当する人
 ・市内に住む18歳以上の人
 ・生活関連物資の販売に従事していない人
 ・説明会や研修、行事に参加できる人
 ※公務員を除きます。
 募集人数 20人(選考)
 申込 2月23日(火)(必着)までに、応募用紙を郵送またはFAXで送ってください。
 ※応募用紙は、窓口(フェニックス・プラザ1階)、市役所総合案内、各総合支所にあります。ホームページからダウンロードすることもできます。
 問合せ・申込先・ホームページ 〒910・0018
 福井市田原1丁目13-16
 消費者センター ☎20・5070 FAX 20・5081

男女共同参画・子ども家庭センター職員募集

委嘱期間 4月1日～平成29年3月31日
 勤務時間 1週間あたり30時間(9時～21時の交替制)
 休日 毎週火曜日
 ・週のうち火曜日以外の1日
 ・年末年始
 勤務場所 男女共同参画・子ども家庭センター(アオッサ5階)
 勤務内容 男女共同参画・少子化対策に関する講座や講演会の企画・運営
 賃金 市民団体やグループの支援情報誌作成 など
 月額14万9800円
 応募要件 次のすべてに該当する人
 ・男女共同参画・少子化対策の推進に熱意がある人
 ・パソコンの基本的な操作ができる人
 ・普通自動車免許を持っている人
 募集人数 若干名
 面接 3月5日(土)
 申込 2月22日(月)17時(必着)までに、履歴書と作文を郵送または窓口(アオッサ5階)へ提出してください。
 ※作文は「女性が輝く社会の実現のために必要なこと」について、原稿用紙に800字以内で手書きしてください。

協働に向けたミーティング事業

市民と行政が協働し、豊かなまちづくりを進めるため、市民活動団体の自由な発想で創造した協働企画を募集します。
 テーマ 出愛♡恋々応援事業
 ・ボランティアANPO博覧会
 ・ボランティア活動発掘事業
 ・愛宕坂にぎわい事業
 ・福井のロケ地データベース
 ・充実事業
 ・児童虐待防止普及啓発事業
 ・パパひろば事業
 ・美のみちプロジェクト
 ・自由テーマ(福井市総合計画の施策から選択)
 申込 2月29日(月)(必着)までに、企画提案書に必要書類を添えて、郵送または窓口(アオッサ5階)へ提出してください。
 ※募集要領と企画提案書は窓口にあります。ホームページからダウンロードすることもできます。
 ※事業費や応募要件など、詳しくは募集要領をご覧ください。
 問合せ・申込先・ホームページ 〒910・0858

問合せ・申込先 〒910・0858
 福井市手寄1丁目4-1
 男女参画・市民協働推進室 ☎20・5353

足羽山公園遊園地ボランティア募集

遊園地で開催するイベントのお手伝いをしてくれるボランティアを募集します。
 応募要件 18歳以上の健康な人で、遊園地のイベントに興味があり、動物や子どもが好きの人
 募集人数 20人(選考)
 申込 3月10日(木)(必着)までに、応募用紙(はがきでも可)、またはEメールに、住所、氏名、生年月日、電話番号、メールアドレス、応募動機、ボランティアでやりたいことを書いて送ってください。
 ※応募用紙はホームページからダウンロードできます。
 問合せ・申込先 〒918・8009
 福井市山奥町58-97
 足羽山公園遊園地 ☎34・1680
 《Eメール》
 zoo@city.fukui.lg.jp

福井市手寄1丁目4-1
 男女参画・市民協働推進室 ☎20・5353

福井市行政チャンネル(ケーブルテレビ121ch) ふくチャンネル 番組情報

番組名	内容	放送期間
いきいき情報ふくい	マイナンバーと消費者トラブル	2/20まで
やろっさFUKUI	1月をプレーバック 成人式ほか	2/11～2/29
	明新ハンドベルクワイア	2/15まで
ビデオライブラリー	おもちゃ箱の会	2/16～2/29
	講座「相手の心をつかむマナー&コミュニケーション術」	2/29まで
市役所情報局	広報ビデオ「朝倉ゆめまるの自由研究～下水道ってなんだろう～」	2/15まで
	それゆけ！福井市調査隊「福井市の子育て支援」	2/16～2/29
みんなのひろば	投稿ビデオ・写真やリクエスト番組	2/29まで
ふくチャンネル閲覧板	イベント情報や市からのお知らせ	毎日(毎週土曜日更新)

※放送時間や内容など、詳しくは広報広聴課のホームページまたは福井ケーブルテレビ番組ガイド「けーぶるちゃん。」(美山地区を除く)をご覧ください。一部の番組は、YouTubeでも配信しています。

編集後記

「親に言われてリターンした」というと、消極的なイメージがあるかもしれません。でも、それだけ家族や地元を愛し、大事にできる自分にもっと自信を持ちませんか。(谷崎) 完成した市体育館のサブアリーナを撮影。下足を履き替えるところには段差がなく、メインアリーナとつながっているので雨の日でも安心。皆さんも利用してみませんか。(三木)



◆感想をお寄せください
 〒910・8511
 福井市役所広報広聴課
 《Eメール》
 kohou@city.fukui.lg.jp



谷文晁「犀」1790年／個人蔵



アロイス・ツェトル「セイウチ」1877年／個人蔵



服部雪斎「紅鶴（鳥類写生）」
江戸時代／西尾市岩瀬文庫蔵



トキの剥製 1957年／自然史博物館蔵

「美術の目でみる博物」展

2月20日(土) ～ 3月27日(日)

福井市美術館

人は自然の造形図を、芸術表現以外に研究資料として描きました。それらは、時間をかけた観察と正確な表現ゆえに、時として高い芸術性を持つ作品となります。

本展では、江戸末期から現代までに資料として制作された図や美術作品、貴重なトキやコウノトリなどの剥製を展示し、美術の視点から資料を紹介します。

じかん 9時～17時15分（2月20日は10時開場）

休館日 月曜日（3月21日を除く）、3月22日(火)

観覧料 一般1000円、高校・大学生500円、

小中学生200円

※障がい者とその付添人、未就学児は無料です。

問合せ 市美術館 ☎33・2990

◆作品解説会

とき 2月21日(日)、3月13日(日) 14時～

参加費 無料（本展の観覧券が必要）

◆アトリエチャレンジ「動物のお面をつくらう」

とき 会期中9時～16時45分

参加費 1000円（本展の観覧券がある場合は、1回無料）

◆大きな亀さんと一緒に記念撮影

ポラロイドミニ写真を1人1枚プレゼントします。

とき 3月20日(日祝) 11時～12時、14時～15時

ところ 1階市民アトリエ1

参加費 無料（本展の観覧券が必要）

発行：福井市

編集：〒910-8511 福井市大手3丁目10番1号
広報広聴課 TEL(076)20-5257 FAX(076)20-5438
URL: <http://www.city.fukui.lg.jp/>